

平成 29 年 9 月 12 日

調 査 ・ 研 修 報 告 書 (会派個人用)

会派名： きずな

報告者： 徳永泰臣

実施場所：全国和牛能力共進会
(宮城県仙台市 夢メッセみやぎ)

実施日：平成 29 年 9 月 8 日

■目的・課題・問題事項（調査・研修に先立っての思いや本市の現状 など）

共進会では、それぞれの時代における和牛生産と、改良上の重要課題を反映した出品区を設定され、日常の登録事業を通じた改良成果の検証と併せて、次世代を託すことができる素材が選抜・展示された。目的は、今後の和牛改良の方向性を明らかにすること。

■参考とすべき事項

広島県から、肉牛と合わせて 28 頭の牛が出品され、そのうち庄原市からの出品が 19 頭と、ほとんどが庄原産・比婆牛の出品であり、全国での評価と現在の改良の進行度合いをはかる事ができた。

■提言・その他（本市の施策等にどのように活用すべきか など）

- これまでの本市の和牛改良方針に間違いが無かった事が、改めて確認できた。
- 今後は、比婆牛増頭の計画を重点におき、今後の畜産事業施策を進める事が大切であると感じた。

※ 調査・研修終了後、一週間以内に会派事務局へ提出してください。

2017年 9月12日

調査・研修報告書（会派個人用）

会派名： きずな

報告者： 五島 誠

実施場所：夢メッセみやぎ	実施日：2017年9月8日
■目的・課題・問題事項（調査・研修に先立っての思いや本市の現状 など） ・和牛振興について	
■参考とすべき事項 ・広島県から肉牛とあわせ28頭の牛が出品され、そのうち庄原市からの出品が19頭と、ほとんど庄原産比婆牛の出品であり、全国での評価と現在の改良の進行度合いをはかることができた。 ・鹿児島産、宮崎産の出品は素人目に見ても一際違いが際立ち、やはり規模の違いが鮮明であったように思う。 ・各県によって様々趣向が凝らされており、特に目についたのは若い方や女性の活躍であった。またおそろいのオシャレなユニフォームなど、畜産のイメージを変えるような工夫があったことは本市においても参考にすべき部分であると感じた。	
■提言・その他（本市の施策等にどのように活用すべきか など） ・これまでの本市の和牛改良の方針については間違いがないように感じた。今後は比婆牛の増頭計画により一層力を入れ、畜産事業施策を進めていく事が大切である。 ・畜産のイメージを変えていく意味でも市民の方々に見ていただく機会、触れ合っていたり機会充実を図っていくべきである。その際、おしゃれさやキャッチーさといった部分を取り入れていく必要がある。 ・カープや金藤選手のように市民の皆さんに応援していただける様、取り進めていく事や農家の地位と所得の向上、女性や若い方を取り込む工夫を行っていく事は、比婆牛を含め庄原産和牛だけでなく、庄原市が誇る他のブランド品（米や景観やヒバゴンなどなど）においても大変重要な視点である。	

※ 調査・研修終了後、一週間以内に会派事務局へ提出してください。

2017 年 9 月 12 日

調査・研修報告書(会派個人用)

会派名: きおな

報告者: 桂藤和夫

実施場所: 全国和牛能力共進会(夢ヶ池みぎ) 実施日: 2017年9月8日(金)

■目的・課題・問題事項(調査・研修に先立っての思いや本市の現状 など)

。和牛の振興について
日常の登録事業を通じた改良成果の検証と次世代を託せる素村の選抜と
展示により、今後の和牛改良の方向性を見い出すこと。

■参考とすべき事項

- 広島県から肉牛と合わせて28頭の牛が出品され、その内18頭が在原産地選
牛の出品であった。全国での評価と現在の改良の進行度合いを量りこた
できた。
各県において様々な趣向が凝らされており、特に目に止めたのは若者や
女性の活躍である。おもしろイベント等、畜産のイメージを良くする
工夫があったので、本市においても大いに参考にすべきだと感じた。

■提言・その他(本市の施策等にどのように活用すべきか など)

。これからの本市の和牛改良の方針に間違いはないように感じた。今後は
比婆牛増頭計画に一層力を入れた畜産事業施策を進めていくことが
大切だと感じた。特に比婆牛レストラン等も検討すべきだと思う。
。現在も本市で取り組まれているが、1マン1ヘクタール等で農業に馴染み
たい若者に畜産だけでなく農業の生計を立てられるような仕組みや
助成制度を取り入れてほしい。

※ 調査・研修終了後、一週間以内に会派事務局へ提出してください。